

OECC新中期計画 (概要版)



第8回橋本道夫記念
シンポジウム

2026年6月29日

一般社団法人海外環境協力センター

理事長 竹本和彦

はじめに

この度、一般社団法人海外環境協力センター（OECC）は、その使命と組織像を明確にするとともに、これまで蓄積してきた経験と専門性を最大限動員し、海外環境開発協力分野のフロントランナーとして各種取組を一層発展していくため、新たな中期計画として「新OECC中期計画（2026-2030）」を策定した。

OECC「新中期計画」の構成

1. OECCの目指す姿（使命と目指す組織像）
2. OECCの主要対象領域における戦略的取組方針
3. OECCの強み（組織力）を活かした総合的展開
4. 会員活動の更なる展開
5. 戦略的アウトリーチ
6. 進捗管理

1. OECCの目指す姿（使命と組織像）

【使命】（Mission）

- 海外環境開発協力における中核的組織として、政策・制度立案支援から現場での事業実施にわたる多様な活動を通じ、世界の持続可能な社会実現に貢献する。

【組織像】（Vision）

① 国際環境開発協力をリードする組織

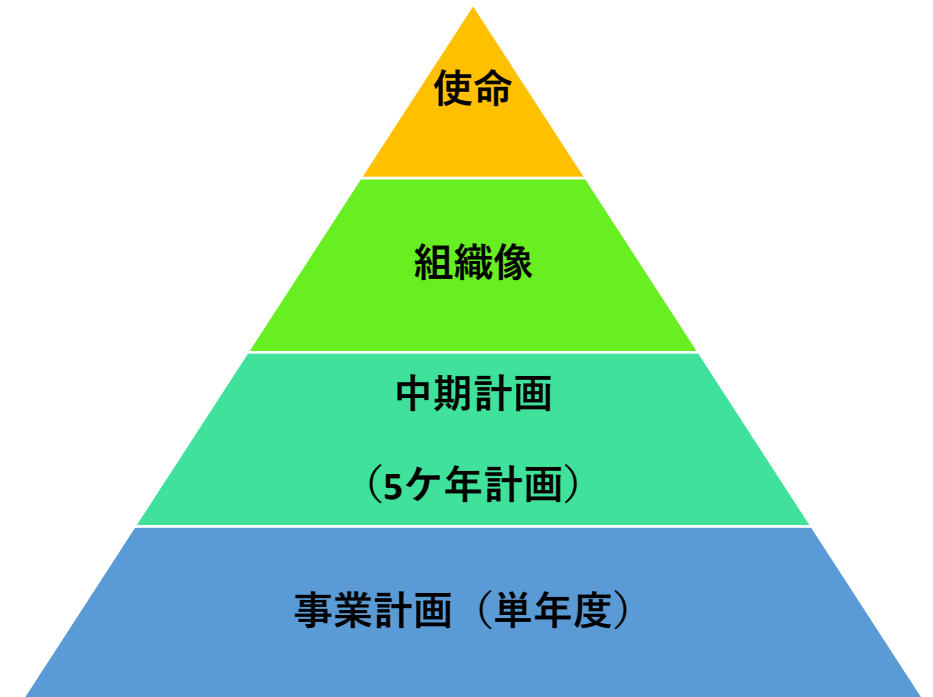
- 多様なステークホルダーとの連携の下、国際的な潮流に的確に対応し、国内外の議論を主導することで、持続可能な社会の実現に貢献する。

② 持続的に成長する専門家集団

- 海外環境開発分野における知識・経験を高め蓄積するとともに、社会ニーズの変化に対応できる強固な経営基盤を構築する。

③ 人が育ち、活躍できる組織

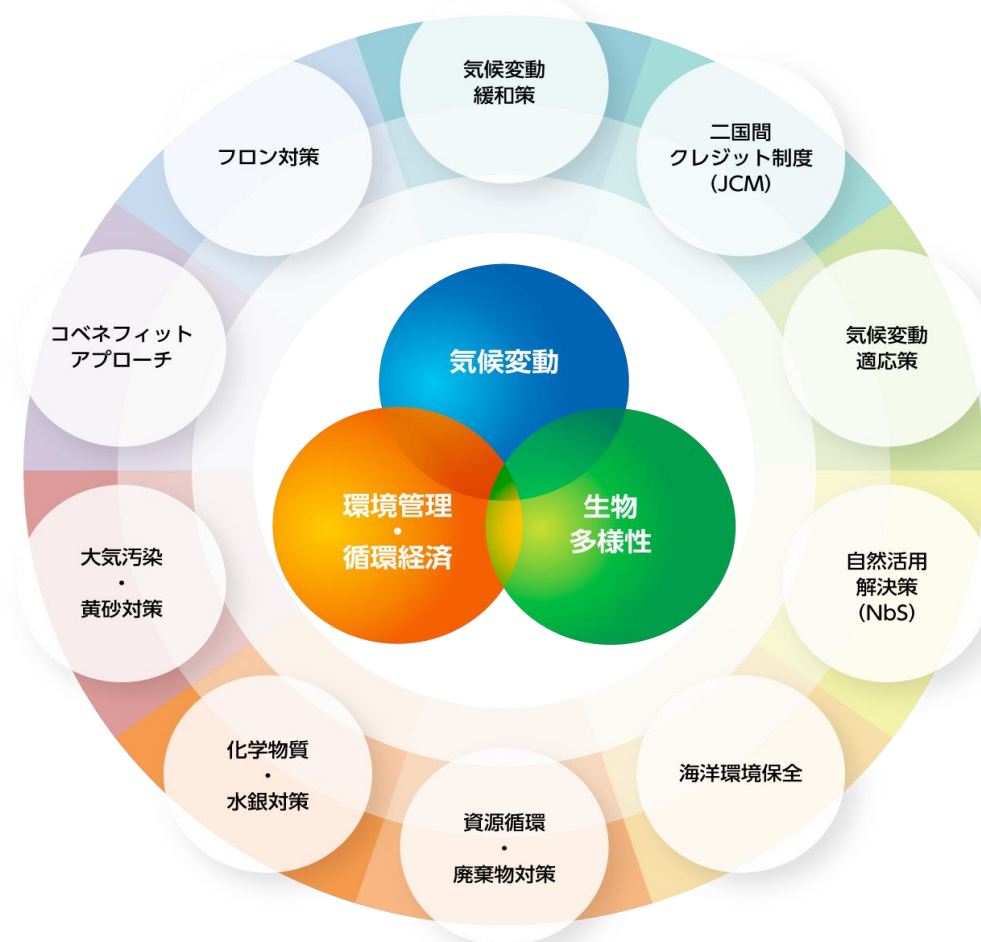
- 職員が誇りとやりがいを持ち、多様な人材が能力を最大限発揮できる組織文化と職場環境を実現する。



OECCの使命・未来像と中期計画の体系図

2. 主要対象領域における戦略的取組方針

- OECCは、海外環境開発協力分野における事業実績を通じ、これまで培ってきた専門的知見を活かし、“①気候変動問題への対応”、“②水・大気環境問題などに対処する地域環境管理や循環経済の推進”及び“③生物多様性の保全”を「**OECCの3本柱**」と位置付け、幅広い領域での活動を積極的に展開していく。
- こうした取組実績は、日本国内に加え、パートナー国政府機関・民間企業や国際機関・枠組み等からも評価されており、新たなパートナーシップ推進のエンジンともなりつつある。これら多角的な活動を統合的に展開してきた実績を踏まえ、国内外における海外環境開発を巡る昨今のダイナミックな動向を的確にとらえ、国際社会のニーズに即応できる能力と体制を備えた組織を目指していく。



OECCの3本柱と主要対象領域の全体像

3. OECCの強み(組織力)を活かした総合的展開

OECCの事業実績に基づく強みを一層発揮し、下記の中核的活動領域における取組を幅広く展開していく。

- ① 政策・制度支援
- ② 案件発掘・形成
- ③ コンサルテーション
- ④ 能力開発
- ⑤ 情報発信
- ⑥ 会議運営
- ⑦ 強みを総動員した総合的取組



4. 会員活動の更なる展開

OECCは今後とも、技術交流部会を中心として、国際社会が直面する地球環境問題や持続可能な社会形成を巡る諸課題の解決策を模索するため、

国内外の第一線で活躍中の専門家を交えたセミナーを開催するとともに、気候変動枠組条約や生物多様性条約、フロン条約・議定書の締約国会議の報告会などを通じ、

国際社会が直面する様々な課題解決に向けた最新動向についての認識を深めるとともに、会員各位の能力向上を図り、あらゆる機会を通じ、会員相互の交流促進に努めていく。

5. 戦略的アウトリーチ

OECCは、「戦略的アウトリーチ・タスクフォース」(Taskforce for Strategic Outreach: TSO)を中心に、OECCの社会との信頼関係を構築するとともに、維持・発展していくことを目指し、国内外の幅広いステークホルダーに対する情報発信及びコミュニケーションを積極的に展開していく。

また、OECCのブランド力、イメージの向上を通じ、組織の価値を向上し、職員の組織に対する帰属意識を高めていくべく、人材確保ツールの開発と運用を図っていく。

さらに、次の活動を「TSO活動の3本柱」として位置付け、取り組んでいく。

- OECCの活動をより分かりやすく、タイムリーに発信できるウェブサイトの管理運用
- OECCの活動を伝える電子版（メールマガジン）でのOECC LETTERの発行
- シンポジウムや国際会議、部会活動及び職員が関わった事業活動の、ウェブサイトやSNSを通じた効果的な情報発信

6. 進捗管理

2026年度より毎年度、本中期計画に基づき実施する活動実績を踏まえ、翌年度の事業計画を策定し、2030年度には、総括レビューを行い、同年度に次期「OECC中期計画」(2031～2035)を策定する。

2026年度	本中期計画に基づく本格始動
2026年度～2030年度	本中期計画に基づく鳴年度の事業実績を反映した次年度事業計画(案)を作成し、理事会に進捗報告
2030年度	総括レビューの実施及び「OECC第3期中期計画(2031～2035)の策定



ウェブサイト

<https://www.oecc.or.jp/>

OECC新中期計画（全文）

https://oecc.or.jp/Medium-Term_Plan/2026_Full.pdf

OECC新中期計画（概要）

https://oecc.or.jp/Medium-Term_Plan/2026_Overview.pdf

OECC事業案内パンフレット

https://www.oecc.or.jp/OECC-pamphlet_JP.pdf